



～自己改革への挑戦～

JA種子屋久では、自己改革の取り組みについてのリーフレットを作成しました。総会・協議会等で活用していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。



平成29年度 自己改革の取り組み報告

農業所得の増大／農業生産の拡大

- ①多様化・高度化する担い手ニーズに迅速かつ的確に対応し、JAの総合力を発揮するために「**農家経営支援センター**」を新設しました。
- ②部会組織肥料予約結集推進対策として、農家の生産コスト削減とJA部会組織の活性化を支援しました。(1袋あたり10円～50円助成)
- ③大口取引先等への事業利用分量に応じた購買資材価格の値引き・助成を行いました。
・乾草大口需要対策 (1個あたり45円～100円助成)
・肥料大口需要対策 (1袋あたり40円助成)
・肥料大規模農家対策 (1袋あたり100円～250円助成)
・予約肥料・飼料の単価引き下げ (全品目1袋あたり22円引き下げ)
- ④農業フェアによる価格引き下げを実施しました。
・取扱品目(3品目) / 各品目10%価格引き下げ
- ⑤南九州3県合同仕入れによる農業機械の販売を実施しました。
・取扱品目(1品目) / 20%価格引き下げ
- ⑥ホームページをリニューアルし農畜産物の情報発信に取り組みました。
- ⑦ダイレクトメール送付による販路拡大や県内外での販売促進を通じて、産地知名度向上に取り組みました。
・ダイレクトメール(ぼんかん、たんかん、マンゴー、早期米、安納いも)
・販売促進先(東京、福岡、鹿児島市)
- ⑧各部会・振興会との話し合いにより地域営農ビジョンを新たに4品目策定し、品目ごとに5年後の数値目標と具体的な取り組み事項などを計画化しました。(4品目策定:スナッフエンドウ、青果用甘藷、水稲、生産牛) / 策定状況:3品目⇒7品目
- ⑨繁殖雌牛増頭対策として、生産基盤の維持・強化を図るために畜産農家経営をサポートしました。(自家留保牛1頭あたり10,000円助成)
- ⑩JA耕種農業生産基盤特別対策として、品目ごとに種苗や資材等に助成金を支出し、生産力の強化を図りました。(助成金総額 9,285千円)

JA種子屋久は、「食と農を軸に地域に根ざした協同組合」として、農業とくらしの発展に貢献するための事業や活動に取り組んでいます。
今回、これまで実践してきた自己改革の取り組みについて主なものを報告いたします。



地域の活性化

JAまつりを通じて、組合員・地域住民とのふれあいつくりに取り組みました。



地域の声を幅広くJA運営に反映させることを目的として、支所ふれあい委員会を設置しました。(4支所設置)



次世代との結びつきを図るために、子育て支援などに取り組んでいます。(アンパンマンこどもくらぶ、少年サッカー大会など)



育てよう笑顔プロジェクトによる地域清掃活動に取り組みました。



農業体験や料理教室などの食農教育(あぐりスクール)に取り組みました。



地域農業を担う次世代リーダーの育成を目的として、協同組合大学を開催しました。(12名受講)



平成30年度 JA自己改革への挑戦

組合員・地域住民に親しまれ信頼される地域密着型のJAを目指します!



農業振興への取り組み

JAでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた取り組みを強化しています。

農畜産物販売事業

組合員・JA・県連が結集した共同販売により、消費者・実需者のニーズに応じた生産と直接販売等を拡大することで、組合員の手取り向上に取り組んでいます。

- ①出向く体制により、担い手や農業法人の声を聴く運動に取り組み、ニーズに応じた営農・経営支援を行います。
- ②生産部会との徹底した話し合いにより地域営農ビジョンの取り組みを強化します。
- ③担い手や新規就農者への総合的な支援を行い、農業生産基盤の維持・強化に取り組めます。
- ④情報発信による販路拡大と契約取引など有利販売の拡大に取り組めます。
- ⑤安心・安全な農畜産物を提供するために、GAP取得に向けた指導体制を強化します。

生産資材購買事業

部会や担い手経営体のニーズを把握し、組合員・JA・県連が結集した共同購入により、資材価格の低減に取り組んでいます。

- ①予約率の向上や低コスト資材の提供により、資材価格の低減を行います。
＜予約肥料・飼料の単価引き下げ＞
- ②事業分量や取引先態に応じた弾力的な購買資材価格の設定を行います。
＜肥料大口助成、部会組織予約肥料助成など＞
- ③各種事業の活用による施設整備や農機リース事業など、農作業の効率化・コスト削減につながる営農支援を強化します。

地域の活性化への取り組み

地域インフラとしての事業や、支所を拠点とした活動など、「地域の活性化」につながる取り組みを行っています。

くらしを支える事業

地域とのつながりの中で、高齢者をはじめ地域住民の方々が元気で安心して暮らせるための事業を行っています。

- ①年金受取や魅力ある金融商品(貯金・積金・給付振込・ローン)の取扱いや、地域に密着した信用事業を行っています。
- ②「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供など、組合員・利用者および地域住民が安心して暮らせるための共済事業を行っています。
- ③行政やJA厚生連と連携した健康増進活動(巡回健診・人間ドック)を行っています。
- ④年金友の会活動やミニデイサービスなど、高齢者の生きがいづくりやくらしを支える事業を行っています。
- ⑤本県JAグループの施設でポイントが貯まって使えるJADDOカードを導入し、組合員・会員へのサービス向上を図っています。

支所を拠点としたくらしの事業

支所を拠点に組合員・地域住民の方々とより身近になる活動に取り組んでいます。

- ①女性組織のサークル活動や世代別・目的別グループの育成・支援に取り組んでいます。
- ②農業体験や料理教室などの食農教育活動(あぐりスクール)に取り組んでいます。
- ③次世代との結びつきを図るため、子育て支援などに取り組んでいます。(アンパンマンこどもくらぶ、少年サッカー大会、書道・交通安全ポスターコンクールの実施)
- ④交通安全協会・警察などと連携した交通事故防止対策活動(街頭キャンペーン・交通安全教室)を実施しています。
- ⑤年金振込日を「年金感謝デー」と位置づけ、来店者へのサービスを展開しています。
- ⑥育てよう笑顔プロジェクトによる地域清掃活動を実施しています。
- ⑦JAまつりを通じて、組合員・地域住民とのふれあいつくりに取り組んでいます。
- ⑧組合員宅訪問活動による組合員・地域のニーズ把握に努めています。
- ⑨支所だより発行による情報発信を行っています。
- ⑩支所ふれあい委員会を設置し、組合員・地域住民との話し合いを通じて、地域の活性化づくりに向けた取り組みを行っています。

■お問い合わせ先
JA種子屋久(企画管理部)
TEL: 0997-27-1211(代表)

新しい仲間
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



獅子座
7/23
～ 8/22

【全体運】 面倒見の良さを発揮すれば、円滑な人間関係が築けそう。快く身近な人をフォローして。気分転換には温泉が◎
【健康運】 極端な健康法は厳禁。自然な生活が一番
【幸運を呼ぶ食べ物】 ウナギ